

## 株式データ（平成20年5月20日現在）

|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 20,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 7,760,000株  |
| 株主数      | 2,855名      |

## 株主メモ

|            |                                                                                                                                                                   |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度       | 毎年5月21日から翌年5月20日まで                                                                                                                                                |
| 定時株主総会     | 毎年8月20日までに開催                                                                                                                                                      |
| 定時株主総会の基準日 | 毎年5月20日                                                                                                                                                           |
| 期末配当の基準日   | 毎年5月20日                                                                                                                                                           |
| 中間配当の基準日   | 毎年11月20日                                                                                                                                                          |
| 公告方法       | 電子公告の方法により当社のホームページ（ <a href="http://www.kusuri-aoki.co.jp">http://www.kusuri-aoki.co.jp</a> ）に掲載します。<br>ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 |
| 株主名簿管理人    | 東京都港区芝三丁目33番1号<br>中央三井信託銀行株式会社                                                                                                                                    |
| 同事務取扱所     | 〒168-0063<br>東京都杉並区和泉二丁目8番4号                                                                                                                                      |
| 郵便物送付先     | 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部                                                                                                                                                |
| お問合せ先      | 電話0120-78-2031（フリーダイヤル）                                                                                                                                           |
| 同 取 次 所    | 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店<br>日本証券代行株式会社 本店および全国各支店                                                                                                                       |

## 会社概要（平成20年5月20日現在）

|          |                                     |
|----------|-------------------------------------|
| 会社名      | 株式会社クスリのアオキ                         |
| 所在地      | （本部）石川県白山市松本町2512番地                 |
| 電話       | （代表）076-274-1111                    |
| 設立       | 昭和60年1月26日                          |
| 資本金      | 1,294百万円                            |
| 従業員      | 702名                                |
| 平均臨時雇用者数 | 877名                                |
| 店舗数      | 117店舗                               |
| 事業内容     | 医薬品・化粧品・日用雑貨などの近隣型小売業（ドラッグストア）、調剤薬局 |

## 役員（平成20年8月19日現在）

|         |       |
|---------|-------|
| 代表取締役会長 | 青木 桂生 |
| 代表取締役社長 | 青木 保志 |
| 取締役副社長  | 佐藤 義和 |
| 常務取締役   | 三垣 康伸 |
| 常務取締役   | 三垣 康伸 |
| 取締役     | 澤内 野和 |
| 取締役     | 鶴羽 樹一 |
| 取締役     | 早水 中夫 |
| 常勤監査役   | 田中 川護 |
| 監査役     | 北谷 嶋哲 |
| 監査役     | 隅高    |
| 監査役     | 高     |

ホームページを開設しています

<http://www.kusuri-aoki.co.jp>

当社のホームページでは、企業情報や財務情報をはじめ、様々な情報をご案内しております。どうぞご覧ください。

IRページ▲

株式会社 クスリのアオキ

〒924-8510 石川県白山市松本町2512番地  
TEL.076-274-1111 FAX.076-274-6114



クスリのアオキ



クスリのアオキ

株式会社 クスリのアオキ

証券コード：3398



# 第24期 年次報告書

平成19年5月21日～平成20年5月20日



◀トップページ

代表取締役社長  
青木 保外志

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、株式会社クスリのアオキ第24期年次報告書をお届けし、営業の概況等をご報告させていただきます。

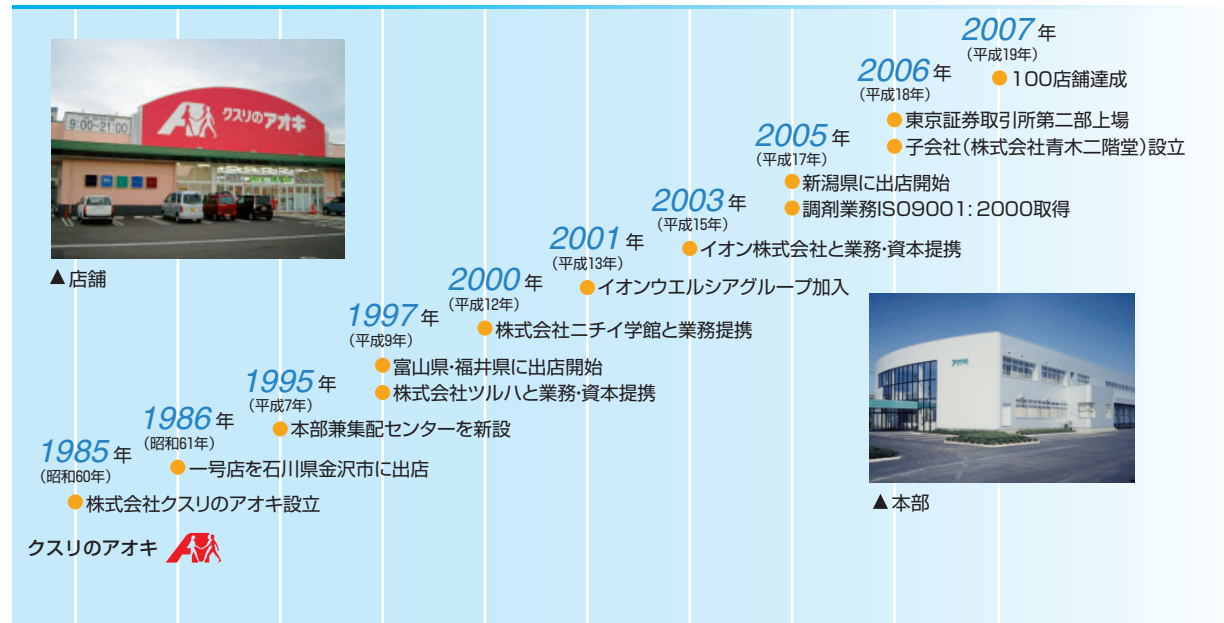
当社は、健康・美・衛生を核として、時代と社会の要請に応えられる企業を目指し、日々新たな自己変革に取り組んでおります。地域医療の一員としての自覚を持ち、多様化するお客様の願いやお悩みに真正面から向き合い、解決できるソリューションストア〈問題解決型店舗〉でありたいと思っております。

当社は現在、北陸三県（石川県、富山県、福井県）と新潟県に121店舗を有しておりますが、今期は長野県にも新規に店舗展開を始めます。今後も皆様のご期待にお応えすべく、地域に密着した店舗を築き上げ、更なる経営基盤の強化に取り組んでまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成20年8月

## 沿革



## 組織力を強化し、更なる成長に向けて取り組んでまいります

## 新規エリアでのチャレンジ

100店舗達成から一年以上が経ち、現在も着実に成長を続けておられますが、今後の店舗展開の方針についてお聞かせ下さい。

北陸エリアで経営地盤の強化を図るとともに、信越エリアでの店舗展開に力を入れていきます。

当社はこれまで、北陸三県（石川県、富山県、福井県）において着実にドミナント基盤を築き上げてきました。このドミナント基盤を更に拡大して、会社の成長を実現するために、平成17年11月より新潟県への進出を開始しました。そして、今年8月には、長野県へも進出いたします。当該2県の信越エリアは、北陸3県よりも大きい商圈であり、今後は一層当該エリアでの出店を強化していきます。新潟県では、これまでに上越・中越地区においてドミナント化を

進めておりますが、今年7月には下越地区に進出し、日本海側で最大商圈と言える新潟市に2店舗をオープンしました。現在は新潟県全域で11店舗を有しております。長野県でも、今期2店舗のオープンを皮切りにドミナント化を進める方針です。

そして信越エリアの営業を統括する部署として、今年3月、「新潟地区本部」（現在、「信越地区本部」に改称）を新設し、大島店（新潟県長岡市）内に事務所を開設しました。地域の情報をしっかり把握して、営業力の拡充を図り、当該エリアでのドミナント強化を進めていきます。

一方で、トップシェアを維持している北陸エリアにおいても、更なる経営地盤の強化が求められます。北陸では今期、新規出店は石川県2店舗、富山県3店舗、福井県4店舗を計画しており、更なるドミナントの深耕を図ります。



▲信越地区本部のある大島店





## ファーマシー機能の充実に向けて

Q 今後、ファーマシー機能の核である調剤事業を拡大していく上で多くの取り組みをされていると思いますが、現状についてお聞かせ下さい。

A 人材の確保・教育や、システムの整備など、様々な面から投資を始めています。

少子高齢化の進行に伴い、健康に関する欲求が顕在化し、国の医療費抑制政策として特定健診が義務化されるなど、治療から予防へと社会の気運はシフトしていると言えます。また、医薬分業の進展とともに調剤マーケットも拡大していく状況にあります。そういった中で当社は、地域に密着したドラッグストアとして、店舗における商品の品揃えやサービスを充実させる一方で、**調剤事業を拡大することが必要であると考えています。**そのためには、薬剤師をはじめとした人材の確保や環境の整備など、多くの課題があります。

当社ではまず、薬剤師や登録販売者（※1）など、専門知識を有する**人材の確保と育成**に力を入れています。薬剤師については、スタッフ



の人員を2名から4名に増強し、薬科大への訪問、会社説明会への参加の頻度を高めて、採用を強化しています。採用後も、調剤薬局担当のスーパーバイザー（※2）により、調剤業務のスキルアップ指導やフォローアップが行われる体制づくりをしています。一方、登録販売者については、今年から始まる試験への対策として、社員が自宅で勉強できるよう「eラーニング（ネットを利用する遠隔教育）システム」を導入しました。400名強の受験を予定し、約250名の合格を目指しています。

また、システムの整備など、**調剤事業を運営する基盤を強化すること**も必要です。当社の調剤薬局では現在、「薬品鑑査システム」（※3）の導入などにより、質の高い調剤業務を行うことのできる環境づくりに取り組んでいます。

- （※1）…薬事法改正により導入される新資格。取得すれば、薬剤師でなくても、一般用医薬品の中で比較的低リスクの低い風邪薬などを販売できるようになります。
- （※2）…担当する店舗エリアの収支責任を持ち、従業員らへの業務指導等を行う職位。
- （※3）…詳しくは当誌9ページをご覧ください。



▲当社テレビCMより

## 営業の概況

## Business Review

### 当期（平成20年5月期）の営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益は堅調に推移し、民間設備投資の拡大や雇用の改善も見られ、景気はこれまでの回復基調を持続いたしました。が、年度後半には、原油高に伴う原材料等の価格の上昇と、米国におけるサブプライムローンの不良債権化問題が顕在化し、個人消費におきましても、食料品等、生活に身近な商品の価格上昇傾向が高まってきたことから、景気の先行きに不透明感が現れてきました。

当ドラッグストア業界におきましては、出店競争の激化や、お客様のドラッグストアに対するニーズの多様化及び改正薬事法による医薬品販売の先行きの厳しさ等により、依然として激しい競争状況にあります。

しかしながら当社グループ（当社及び連結子会社）では、これらの課題を克服するために、地域のお客様に支持される売場づくりに努め、当連結会計年度において、6店舗の全面改装を実施いたしました。

また、改正薬事法の施行に伴う医薬品販売の新資格者である登録販売者の養成に向けての取り組みや社員教育の充実に努めてまいりました。

店舗の新設につきましては、期初計画通り、ドラッグストアを石川県に5店舗、富山県に3店舗（内1店舗はスクラップ&ビルドによる出店）、福井県に2店舗、新潟県に4店舗の合計14店舗の出店を行い、更なるドミナント化を推進いたしました。

また、ドラッグストア併設調剤薬局を石川県に1薬局新規開設いたしました。

この結果、当連結会計年度末の当社グループの店舗数は、ドラッグストア114店舗（内調剤薬局併設店舗36店舗）、調剤専門薬局3店舗の計117店舗となっております。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高444億52百万円（前年同期比15.1%増）、営業利益15億68百万円（前年同期比10.7%増）、経常利益16億47百万円（前年同期比11.7%増）、当期純利益9億10百万円（前年同期比17.2%増）となり、増収増益を確保いたしました。

なお、商品部門別売上高は、ヘルス（医薬品や健康食品等）98億19百万円（売上構成比22.1%、前年同期比10.8%増）、ビューティ（カウンセリング化粧品やフェイスクア商品等）112億17百万円（同25.2%、同14.9%増）、ライフ（家庭用品やベビー関連用品等）205億58百万円（同46.3%、同16.3%増）、調剤（薬局にて処方する医療用医薬品）28億57百万円（同6.4%、同23.0%増）となっております。

### 次期（平成21年5月期）の見通し

平成21年5月期の見通しにつきましては、米国におけるサブプライムローン問題や原油高等の影響により、企業収益にも陰りが見え始め、生活必需品等の価格上昇に伴う消費マインドの悪化も懸念されることから、景気の減速感が一層強くなると予想されます。

ドラッグストア業界におきましても、出店競争を含め、他業態を交えた激しい企業間競争が継続され、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われませんが、当社グループは、引き続き、お客様の視点に立った店舗開発や売場づくりを進めるとともに、お客様の満足度向上のための教育体制の強化など、積極的に取り組んでまいります。

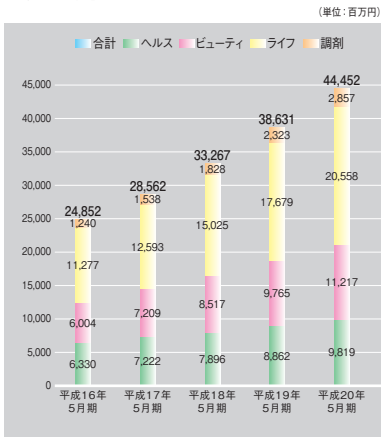
平成21年5月期の店舗投資計画につきましては、更なるドミナント化や、新規エリアである長野県への出店等、ドラッグストア15店舗の新規出店を計画しており、既存店につきましても、全面改装も含め、引き続き活性化を図ってまいります。また、調剤薬局につきましては、ドラッグストア併設調剤薬局4薬局の新規開設を計画しております。

以上により次期の連結業績見通しといたしましては、売上高501億49百万円（前年同期比12.8%増）、営業利益16億76百万円（前年同期比6.9%増）、経常利益17億円（前年同期比3.2%増）、当期純利益9億14百万円（前年同期比0.4%増）を予想しております。

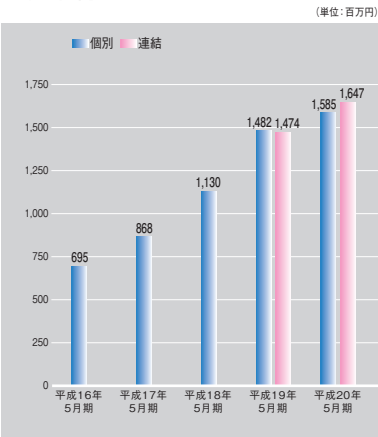
財務ハイライト

Financial Highlight

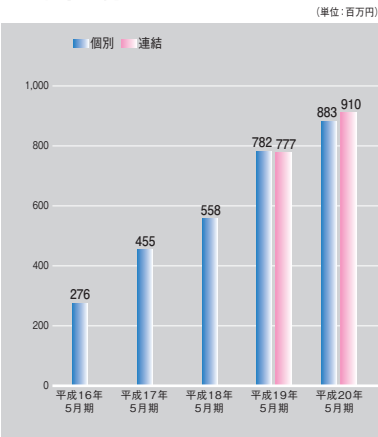
売上高



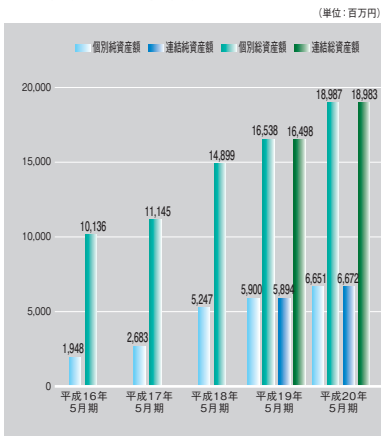
経常利益



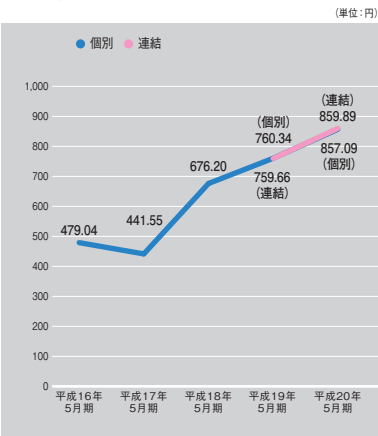
当期純利益



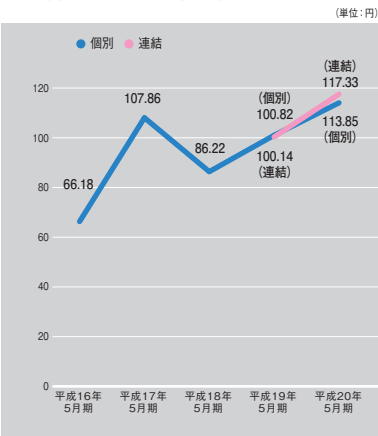
純資産額／総資産額



1株当たり純資産額



1株当たり当期純利益



(注) 1. 1株当たり純資産額および1株当たり当期純利益：平成17年8月10日付の1：1,000の株式分割に伴う希薄化を遡及修正した数値を記載しております。  
2. 平成19年5月期より、連結子会社（株式会社青木二階堂）の設立に伴い、連結決算を行っております。

財務諸表

Financial Data

連結貸借対照表（要旨）

(単位：千円)

| 科 目      | 当期<br>平成20年5月20日現在 | 前期<br>平成19年5月20日現在 | 科 目           | 当期<br>平成20年5月20日現在 | 前期<br>平成19年5月20日現在 |
|----------|--------------------|--------------------|---------------|--------------------|--------------------|
| 資 産 の 部  |                    |                    | 負 債 の 部       |                    |                    |
| 1 流動資産   | 8,201,471          | 7,396,039          | 3 流動負債        | 9,120,931          | 8,409,237          |
| 現金及び預金   | 1,965,192          | 2,107,020          | 買掛金           | 6,155,377          | 4,936,901          |
| 売掛金      | 516,764            | 523,845            | 短期借入金         | －                  | 655,000            |
| たな卸資産    | 4,818,703          | 4,020,982          | 1年以内返済予定長期借入金 | 930,033            | 471,281            |
| 繰延税金資産   | 359,498            | 301,002            | その他           | 2,035,520          | 2,346,054          |
| その他      | 541,311            | 443,187            | 4 固定負債        | 3,189,715          | 2,193,984          |
| 2 固定資産   | 10,781,896         | 9,102,101          | 長期借入金         | 2,810,022          | 1,761,369          |
| 有形固定資産   | 8,603,352          | 7,205,564          | 退職給付引当金       | 79,552             | 87,843             |
| 建物       | 6,832,071          | 5,615,517          | 役員退職慰労引当金     | 210,750            | 200,410            |
| 土地       | 770,565            | 770,565            | その他           | 89,390             | 144,361            |
| その他      | 1,000,716          | 819,482            | 負債合計          | 12,310,646         | 10,603,221         |
| 無形固定資産   | 418,076            | 364,428            | 純 資 産 の 部     |                    |                    |
| 投資その他の資産 | 1,760,466          | 1,532,108          | 株主資本          | 6,657,448          | 5,871,150          |
| 保証金及び敷金  | 1,195,825          | 1,050,525          | 資本金           | 1,294,330          | 1,294,330          |
| 繰延税金資産   | 199,733            | 200,889            | 資本剰余金         | 1,497,114          | 1,497,114          |
| その他      | 367,307            | 288,118            | 利益剰余金         | 3,866,003          | 3,079,705          |
| 貸倒引当金    | △ 2,400            | △ 7,425            | 評価・換算差額等      | 15,272             | 23,768             |
| 資産合計     | 18,983,367         | 16,498,141         | 純資産合計         | 6,672,721          | 5,894,919          |
|          |                    |                    | 負債・純資産合計      | 18,983,367         | 16,498,141         |

POINT

1. 流動資産

新規出店によるたな卸資産の増加等により、前期に比べ8億5百万円増加し、82億1百万円となりました。

2. 固定資産

新規出店による建物等の有形固定資産の増加等により、前期に比べ16億79百万円増加し、107億81百万円となりました。

3. 流動負債

新規出店による仕入高の増加に伴う買掛金の増加等により、前期に比べ7億11百万円増加し、91億20百万円となりました。

4. 固定負債

新規店舗の設備投資を使途とする長期借入金の増加等により、前期に比べ9億95百万円増加し、31億89百万円となりました。



連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

| 科 目          | 当期                       | 前期                       |
|--------------|--------------------------|--------------------------|
|              | 平成19年5月21日から平成20年5月20日まで | 平成18年5月21日から平成19年5月20日まで |
| 売上高          | 44,452,020               | 38,631,609               |
| 売上原価         | 33,100,663               | 28,759,628               |
| 売上総利益        | 11,351,356               | 9,871,980                |
| 販売費及び一般管理費   | 9,782,825                | 8,455,594                |
| ① 営業利益       | 1,568,530                | 1,416,385                |
| 営業外収益        | 159,221                  | 117,534                  |
| 営業外費用        | 80,472                   | 59,640                   |
| ① 経常利益       | 1,647,280                | 1,474,279                |
| 特別損失         | 3,008                    | 95,764                   |
| 税金等調整前当期純利益  | 1,644,271                | 1,378,515                |
| 法人税・住民税及び事業税 | 785,385                  | 685,135                  |
| 法人税等調整額      | △ 51,570                 | △ 83,679                 |
| 当期純利益        | 910,457                  | 777,058                  |

POINT

1. 営業利益・経常利益  
新規店舗を期初計画通り出店することができ、既存店につきましても全面改装を含め活性化に努力してまいりました。その結果、営業利益は15億68百万円（前期比10.7%増）、経常利益は16億47百万円（前期比11.7%増）となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

| 科 目                 | 当期                       | 前期                       |
|---------------------|--------------------------|--------------------------|
|                     | 平成19年5月21日から平成20年5月20日まで | 平成18年5月21日から平成19年5月20日まで |
| ① 営業活動によるキャッシュ・フロー  | 1,443,377                | 1,407,429                |
| ② 投資活動によるキャッシュ・フロー  | △ 2,340,415              | △ 1,434,223              |
| ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー  | 677,047                  | △ 23,262                 |
| 現金及び現金同等物の増加・減少（△）額 | △ 219,991                | △ 50,057                 |
| 現金及び現金同等物の期首残高      | 1,635,183                | 1,685,241                |
| 現金及び現金同等物の期末残高      | 1,415,192                | 1,635,183                |

POINT

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー  
主に税金等調整前当期純利益16億44百万円と減価償却費5億49百万円の計上、仕入債務の増加8億16百万円、たな卸資産の増加7億97百万円、法人税等の支払7億39百万円等によるものです。

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー  
主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出19億62百万円、定期性預金預入による支出11億47百万円、定期性預金払戻による収入10億68百万円等によるものです。

3. 財務活動によるキャッシュ・フロー  
主に新規店舗の建物建築資金等を使途とする長期借入による収入20億5百万円と、長期借入金返済による支出4億97百万円、短期借入金の減少6億55百万円等によるものです。

連結株主資本等変動計算書

平成19年5月21日から平成20年5月20日まで

（単位：千円）

|                     | 株 主 資 本   |           |           |             | 評価・換算差額等                |                   | 純 資 産 計 合 |
|---------------------|-----------|-----------|-----------|-------------|-------------------------|-------------------|-----------|
|                     | 資 本 金     | 資 本 剰 余 金 | 利 益 剰 余 金 | 株 主 資 本 計 合 | そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 計 |           |
| 前 期 末 残 高           | 1,294,330 | 1,497,114 | 3,079,705 | 5,871,150   | 23,768                  | 23,768            | 5,894,919 |
| 当 期 変 動 額           |           |           |           |             |                         |                   |           |
| 剰 余 金 の 配 当         |           |           | △ 124,160 | △ 124,160   |                         |                   | △ 124,160 |
| 当 期 純 利 益           |           |           | 910,457   | 910,457     |                         |                   | 910,457   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） |           |           |           |             | △ 8,495                 | △ 8,495           | △ 8,495   |
| 当期変動額合計             | －         | －         | 786,297   | 786,297     | △ 8,495                 | △ 8,495           | 777,801   |
| 当 期 末 残 高           | 1,294,330 | 1,497,114 | 3,866,003 | 6,657,448   | 15,272                  | 15,272            | 6,672,721 |







## 調剤薬局の業務 ～「薬品鑑査システム」～

調剤薬局では、処方箋をお預かりしてからお薬をお渡しするまでに、様々な業務を行っています。しかし、普段ご利用いただいている患者様でも、調剤室内の様子を目にする機会はあまりないのではないのでしょうか。今回はその中でも、最近導入された「薬品鑑査システム」についてご紹介します。

### 「薬品鑑査システム」の概要

患者様に安全なお薬を安心して飲んでいただけるよう、昨年11月より導入を始めたシステムです。具体的には、患者様にお渡しするお薬の数や種類などが、処方箋の内容と一致しているかどうかの確認を行います。

1 処方箋の内容をパソコンに入力し、そのデータをバーコード化した「指示箋」を発行します。

更に、そのバーコードをHT（ハンディターミナル：読取機のこと）でスキャンし、データをHTに入力します。



2 処方箋に基づき、必要な薬品を棚から取り出します（ピッキング）。

HTで、薬品ごとについているバーコードをスキャンし、データをHTに入力します。



3 最終確認として、鑑査を行います。

1 でHTに入力した指示箋のデータと、お薬の数や種類（2 のピッキングデータ）を照らし合わせ、間違いがないかどうかチェックします。

## 株主優待制度のご案内

当社はこの度、株主の皆様の日頃のご支援に感謝いたしまして、株主優待制度を新設いたしました。

### 株主優待制度の内容

◆「株主優待カード」または「北陸地方の名産品」の内、いずれかお一つをお選びいただけます。

※毎年5月20日時点で株主名簿に記載され、1単元（100株）以上を所有されている株主様が対象となります。

#### 「株主優待カード」

当社店舗でのお買い物時にお使いいただくと、お買上額から5%割引が受けられます。

※使用期間は1年間（再発行は不可）です。

※一部割引対象外の商品（調剤、タバコ等）がございます。



#### 「北陸地方の名産品」

以下のように、所有株式数に応じてお選びいただいた一品を贈呈いたします。

- ・1単元（100株）以上5単元（500株）未満 …………… 2,000円相当の品
- ・5単元（500株）以上10単元（1,000株）未満 …… 3,000円相当の品
- ・10単元（1,000株）以上 …………… 5,000円相当の品

※平成20年5月20日時点の株主様を対象とする名産品例※

依屋あめ詰め合わせ

直源醤油ドレッシング詰め合わせ



（2,000円相当）



（5,000円相当）



（2,000円相当）



（5,000円相当）

